

「子どもに関わるボランティアのつどい・研修会」事業報告

1 事業名 令和4年度子どもに関わるボランティアのつどい・研修会

2 研修内容

研修1〈実践発表〉 「ボランティアの活動について」

キッチン小春ちゃん 代表 山本 浩 氏

研修2〈講話・演習〉 「“対話”で深めよう・つながろう」

三四郎の学校 事務局長 日賀 優一 氏

3 日時 令和4年10月2日（日） 9：10～12：00

4 会場 福岡県教育庁筑豊教育事務所 2階研修室

5 対象 「地域学校協働活動」を活用している事業の支援サポーター、ボランティア等
地域学校協働推進員 放課後児童クラブの指導員等
高校、大学の学生ボランティア等関係者 市町村教育行政関係者
その他、ボランティアに興味のある者

6 当日の様子



【山本氏による実践発表】



【日賀氏による講話】



【演習について説明を受ける参加者】



【グループトークをしている参加者】

本研修会は、子どもに関わるボランティアやその関係者等に、地域づくりを意識したボランティア活動の意欲を高めると共に、参加した方々の情報交換や、つながりのきっかけづくりを行うことを目的に、研修内容を企画しました。

研修1の山本氏の実践発表では、地域の方々の居場所づくりを目指した子ども食堂「キッチン小春ちゃん」の活動を報告して頂きました。参加した方々は、山本氏の「地域づくりを行ってきた思い」や、「活動を続けていくための関係づくり」などについての発表を聞くことで、自分自身の活動を振り返り、今後どのように取り組んでいくか考えることができました。

研修2では、日賀氏から対話をすることで得られる効果について講話をして頂き、演習では「地域におけるボランティア活動に今、何がたりないのか」をテーマに対話する活動をコーディネートして頂きました。参加した方々は、地域づくりについて、それぞれの思いに共感したり、情報交換したりすることができました。

今回の研修会を通して参加者の皆様に、地域づくりを意識したボランティア活動について考えることができました。参加者からは、「地域でのボランティア活動の中で実践していきたいと思いました。」や「人との関わりの中で傾聴、受容、共感を大事にして、話しやすい環境づくりをしたいと思います。」という本研修会で学んだことを今後の取組に活かしていこうとするような感想があり、ボランティア活動への意欲を高めることができましたと考えます。また、参加者同士が連絡や情報を交換する姿もみられ、つながりのきっかけづくりの場にもなりました。